| フニリアリニノ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 2021年度 2022年度 | | | 2022年度活動状況 | 関連するSDGs | |
|-------------------------------|--|---------------------------------|----------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|--|--|
| マテリアリティ | 「CSKロートマック 2022」の主な取り組み | 設定したKPI | 目標値 | 実績値 | 評価*1 | 関連する取り組み | | |
| | グリーンイノベーション製品の売上収益拡大を目指します。 | グリーンイノベーション製品売上収益 (IFRS) | 10,000億円(2022年度) | 9,934億円 | Δ | グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト | 2 飢餓を ゼロに すべての人に 健康と福祉を 6 安全な水とトイレ を世界中に | |
| | バリューチェーンへの CO₂削減貢献量 ^{*3} を拡大します。 | バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量 | 2013年度比5.3倍(2022年度) | 9.5倍 | 0 | グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト | -W- | |
| 事業を通じた 1 環境問題解決への貢献 | 水処理貢献量 ^{*4} を拡大します。 | 水処理貢献量 | 2013年度比2.4倍(2022年度) | 2.5倍 | 0 | グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト | 7 エネルギーをみんなに 子にてクリーンに 4 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 | |
| | 低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発 を推進していきます。 | *2 | | | | GR製品分野の取り組み | 13 気候変動に 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう | |
| | プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用等に貢献していきます。 | | | | <u>資源循環型社会の実現に向けた取り組み</u> | | | |
| | ライフイノベーション製品の売上収益拡大を目指します。 | ライフイノベーション製品売上収益 (IFRS) | 3,000億円(2022年度) | 3,696億円 | 0 | ライフイノベーション事業拡大プロジェクト | 2 Mig を せいに 3 すべての人に | |
| 事業を通じた 2 健康・長寿社会実現 への貢献 | 防護服や PPE*5用部材・製品の供給とその高度化、空気や水などの衛生環境を守るための素材供給を通じて、感染症を含む公衆衛生上のリスク対策に貢献します。 | | | | | ライフイノベーション事業拡大プロジェクト | 12 つくる責任 13 気候変動に つかう責任 13 具体的な対策を | |
| | GHG ^{*6} 排出量売上収益原単位を削減します。 | GHG排出量売上収益原単位削減(率) | 2013年度比20%(2022年度) | 34.6% ^{*7、8} | 0 | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 3 すべての人に | |
| 資源・エネルギー問題 3 | 用水使用量売上収益原単位を削減します。 | 用水使用量売上収益原単位削減(率) | 2013年度比25%(2022年度) | 31.9%*8 | 0 | 水資源管理の取り組み | 8 機をがいる 9 かまた技術学館の # 位の続けられる # かちづくりを # はをつくろう # 11 かちづくりを | |
| るの対応 | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 86%以上 86%以上 | 86.8% | 0 | <u>廃棄物削減への取り組み</u> | 12 つくる責任 | |
| | 計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。 | | | | | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 15 ^{陸の豊かさも} | |

| マテリアリティ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 2021年度 2022年度 | | 2022年度活動状況 | 関連するSDGs | | |
|-----------------------|--|--|--|----------|---|--|--|--|
| ())))) | | 設定したKPI | 目標値 | 実績値 評価*1 | 関連する取り組み | 风足 9 | | |
| 温室効果ガスの 4 排出量削減 | GHG排出量売上収益原単位を削減します。 | GHG排出量売上収益原単位削減(率) | 2013年度比20%(2022年度) | 34.6% | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 3 すべての人に | | |
| | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 86%以上 86%以上 | 86.8% | 廃棄物削減への取り組み | 12 つくる責任 13 気候変動に 14 海の豊かさを ウラウン 13 具体的な対策を 14 ウラウン 13 気候変動に 14 ウラウン 14 ウラン 14 ウラウン 14 ウラウン 14 ウラウン 14 ウラウン 14 ウラウン 14 ウラウン 14 ウラン 1 | | |
| | 計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。 | | | | <u>省エネおよび温室効果ガス排出削減</u> | 15 陸の豊かさも 中方う | | |
| | GHG排出量売上収益原単位を削減します。 | GHG排出量売上収益原単位削減(率) | 2013年度比20%(2022年度) | 34.6% | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 3 すべての人に 安全な水とトイレ では、 | | |
| | VOC ^{*9} 大気排出量を削減します。 | VOC大気排出量削減(率) | 2000年度比 2000年度比 2000年度比 70%以上 70%以上 70%以上 | 70.9% | 化学物質大気排出量の自主削減 | 8 働きがいも 企業と技術革新の基盤済成長も 11 住み続けられるまちづくりを | | |
| 5 環境負荷物質への対応 | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 86%以上 86%以上 | 86.8% | 廃棄物削減への取り組み | 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 中の豊かさを 中の方面 | | |
| | 計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。 | | | | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 15 陸の豊かさも 守ろう | | |
| | PRTR法 ^{*10} 対象物質の大気排出量低減を推進します。 | | | | 化学物質大気排出量の自主削減 | | | |
| | 重大な法令・通達違反件数ゼロを目指します。 | 重大な法令・通達違反(件数) | 0件 0件 0件 | 0件 〇 | <u>倫理とコンプライアンス</u> | | | |
| | 自由・公正・透明な市場競争に基づく適正な取引を行います。 | | | | 一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する | | | |
| 法令遵守・ | 反社会勢力とは一切関係を遮断し、毅然とした対応を徹底します。 | 法務内部監査の実施、前年度監査指摘事 項の改善率(社数・%) | 監査:東レ(株)、国内関係会社、 海外関係会社において実施 改善:各監査翌年度に100% | 100% | 企業風土の醸成 一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する 企業風土の醸成 | 16 平和と公正を すべての人に | | |
| 6 コンプライアンス | 内部通報制度を適切に運用していきます。 | | | | 一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する 企業風土の醸成 | | | |
| | 「倫理・コンプライアンス行動規範」を周知徹底していきます。 | | | | 一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する 企業風土の醸成 | | | |
| | 重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育を行い ます。 | 重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育の実施状況 (社数・%) | 100% 100% 100% | 100% | 一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する 企業風土の醸成 | | | |

| マテリアリティ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | | | 2022年度活動状況 | 関連するSDGs | | | |
|----------------------|---|--------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------|------|-------------------------|-----------------------|--|--|--|
| | | 設定したKPI | | 目標値 | | 実績値 | 評価*1 | 関連する取り組み | | | | |
| | 重大災害件数ゼロを目指します。 | 重大災害(件数) | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0 | <u>労働安全・防災活動</u> | | | | |
| | 世界最高水準の安全管理レベルを達成します。 | 世界最高水準の安全管理レベル達成 (目安:休業度数率0.05以下) | 0.05以下 | 0.05以下 | 0.05以下 | 0.37 | × | 労働安全・防災活動 | | | | |
| | 従業員の安全と健康を確保し、安全衛生水準の向上を図るため、快 適な職場環境の整備に取り組みます。 | | | | | | | 労働安全・防災活動 | | | | |
| | 火災・爆発事故件数ゼロを目指します。 | 火災・爆発事故(件数) | 0件 | 0件 | 0件 | 2件 | × | 労働安全・防災活動 | | | | |
| | 環境事故件数ゼロを目指します。 | 環境事故(件数) | 0件 | 0件 | 0件 | 7件 | × | <u>環境リスクマネジメント</u> | | | | |
| 7 安全・防災の推進 | GHG排出量売上収益原単位を削減します。 | GHG排出量売上収益原単位削減(率) | 2013€ | F度比20%(2022 | 年度) | 34.6% | 0 | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 3 すべての人に | | | |
| 7 女主 的灰の推進 | 用水使用量売上収益原単位を削減します。 | 用水使用量売上収益原単位削減(率) | 2013年 | F度比25%(2022 | 年度) | 31.9% | 0 | 水資源管理の取り組み | | | | |
| | VOC大気排出量を削減します。 | VOC大気排出量削減(率) | 2000年度比 70%以上 | 2000年度比 70%以上 | 2000年度比 70%以上 | 70.9% | 0 | 化学物質大気排出量の自主削減 | | | | |
| | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 | 86%以上 | 86%以上 | 86.8% | 0 | <u>廃棄物削減への取り組み</u> | | | | |
| | 計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。 | | | | | | | <u>省エネおよび温室効果ガス排出削減</u> | | | | |
| | PRTR法対象物質の大気排出量低減を推進します。 | | | | | | | 化学物質大気排出量の自主削減 | | | | |
| | 各国・地域の規制や周辺環境との調和に配慮し、各拠点の緑化を推 進します。 | | | | | | | 生物多様性への取り組み | | | | |
| | 製品事故件数ゼロを目指します。 | 製品事故(件数) | 0件 | 0件 | 0件 | 1件 | × | <u>品質保証・製品安全への取り組み</u> | | | | |
| 製品の品質と 8 安全の確保 | 東レグループ全体の品質保証体制の改善の推進と継続的な維持・向 上のための実効性監査の仕組みを構築します。 | | | | | | | 製品の品質と安全 | | | | |
| | 東レグループ全体で、不正防止機能を付与した品質管理システムの 導入を推進します。 | | | | | | | <u>品質保証・製品安全への取り組み</u> | 12 つくる責任 つかう責任 | | | |
| | 各事業において、QA*11・QC*12機能全体をカバーする品質保証システムの整備・構築を推進します。 | | | | | | | 製品の品質と安全 | | | | |
| | 品質保証・製品安全教育を実施します。 | 品質保証・製品安全教育の実施状況 (社数・%) | 100% | 100% | 100% | 100% | 0 | 品質保証・製品安全への取り組み | | | | |

| マテリアリティ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 2021年度 2022年度 目標値 | | | 2022年度活動状況 | | | 関連するSDGs | | | |
|-------------------------------|---|--|--------------------------|-------------|-------|------------------|-------------|------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|----------------------|--|
| * 7 7 7 7 7 4 | 「CSNロードマック 2022」の主な扱う幅の | 設定したKPI | | | 実績値 | 評価 ^{*1} | 関連する取り組み | JG.27 302 50 | | | | |
| | 用水使用量売上収益原単位を削減します。 | 用水使用量売上収益原単位削減(率) | 2013年 | 度比25%(2022 | 年度) | 31.9% | 0 | 水資源管理の取り組み | 2 飢餓を ゼロに 【 〈〈〈 | 3 すべての人に 健康と福祉を | 6 安全な水とトイレを世界中に | |
| | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 | 86%以上 | 86%以上 | 86.8% | 0 | <u>廃棄物削減への取り組み</u> | 働きがいも 経済成長も | 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう | 11 住み続けられる まちづくりを | |
| | 水処理貢献量を拡大します。 | 水処理貢献量 | 2013年 | 度比2.4倍(2022 | 2年度) | 2.5倍 | 0 | <u>グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト</u> | | | | |
| 9 水資源管理の取り組み | 低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発 を推進していきます。 | | | | | | | GR製品分野の取り組み | 12 つくる責任 つかう責任 | 13 気候変動に 具体的な対策を | 14 海の豊かさを 守ろう | |
| | プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用等に貢献していきます。 | | | | | | | <u>資源循環型社会の実現に向けた取り組み</u> | 15 陸の豊かさも 守ろう | | | |
| | サプライヤーに対して、CSR に関するアンケートや監査の実施、誓 | サプライチェーンへのCSRの対応を要請 したグループ会社数の比率(社数・%) | 80%以上 | 90%以上 | 95%以上 | 93% | \triangle | 東レグループのCSR調達活動 | | | | |
| | 約書の締結等のCSR への対応を要請するとともに、各社の CSR への取り組み状況の把握に努めます。 | 東レグループが要求するCSRへの取り組み状況を確認したサプライヤーの比率(社数・%) | 70%以上 | 70%以上 | 70%以上 | 88% | 0 | 東レグループのCSR調達活動 | P 57 | √ダー平等を 働 き | fis Lv ⊈s | |
| | サプライチェーンの人権問題、紛争鉱物等への対応を進めていきます。 | | | | | | | 東レグループのCSR調達活動 | 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も | | | |
| サプライヤーの 10 社会・環境への 影響評価 | 物流における CO₂排出量原単位を削減します。 | 物流におけるCO ₂ 排出量原単位の前年対 比削減(率) | 1% | 1% | 1% | 15.3% | 0 | <u>東レグループの物流活動</u> | 10 人や国の不平等 12 つくる責任 つかう責任 | | | |
| | 500km 以上の輸送におけるモーダルシフト*13を推進します。 | 500km以上の輸送におけるモーダルシフト(船・鉄道の使用)比率 | 2 | 10%(2022年度) | | 27% | Δ | 東レグループの物流活動 | | | | |
| | 物流に関わる環境負荷低減と品質向上に継続的に取り組みます。 | | | | | | | 東レグループの物流活動 | | | | |
| | 「ホワイト物流」*14の自主行動宣言に基づき、働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用等、持続可能な物流の実現を目指していきます。 | | | | | | | <u>東レグループの物流活動</u> | | | | |
| | 人権教育・研修を実施します。 | 人権教育・研修の実施状況(社数・%) | 100% | 100% | 100% | 100% | 0 | <u>人権の尊重に関わる活動報告</u> | | | 8 働きがいも 経済成長も | |
| 11 人権の尊重 | 法定障がい者雇用率を達成します。 | 法定障がい者雇用率達成状況 (社数・%) | 100% | 100% | 100% | 53.1% | \triangle | <u>ダイバーシティ推進への取り組み</u> | | © | | |
| 11 人権の尊重 | 東レグループ各社に内部通報・相談窓口を設置し、問題があった場合には迅速かつ適切に対処し、人権リスクの低減につなげるよう努めます。 | | | | | | | 人権の尊重に関わる活動報告 | 10 人や国の不平等 をなくそう | 16 平和と公正を すべての人に | | |

| マテリアリティ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 2021年度 | | 2022年度 | 2022年度活動状況 | | | 即注 十 2 0 0 0 - | |
|------------------------|--|---|------------------|------------------|-------------------|------------|------------------|-------------------------|--|--|
| 4797971 | | 設定したKPI | | 目標値 | | 実績値 | 評価 ^{*1} | 関連する取り組み | 関連するSDGs | |
| 働きやすい 12 企業風土づくり | 基幹人材のキャリア形成の取り組みとして、新人事情報システムを 活用した「キャリアシート」を実施します。 | 新人事情報システムを活用した基幹人材 のキャリア形成の取り組み(「キャリア シート」の実施状況)(社員数・%) | | 30% | 100% | 100% | 0 | 新しい価値を創造する人材の確保と育成 | 4. 質の高い教育を 5 ジェンダー平等を 8 働きがいも みんなに 4 経済成長も | |
| | 海外ナショナルスタッフの基幹人材を計画的に確保、育成、登用していきます。 | | | | | | | 新しい価値を創造する人材の確保と育成 | 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も | |
| | 女性の積極的活用と女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきます。 | | | | | | | ダイバーシティ推進への取り組み | 10 人や国の不平等 16 平和と公正を をなくそう すべての人に | |
| | 育児休職からの復職をサポートします。 | 育児休職からの復職 (率) | 100% | 100% | 100% | 100% | 0 | 社員が働きやすい企業風土づくり | | |
| | 法定外労働時間超過社員数を削減します。 | 法定外労働時間45時間/月超過社員数 削減 | 対前年比削減 | 対前年比削減 | 対前年比削減 | 79.7% | 0 | 社員が働きやすい企業風土づくり | | |
| | 組合員年休取得を促進します。 | 組合員年休取得(率) | 90%程度 | 90%程度 | 90%程度 | 93.2% | 0 | 社員が働きやすい企業風土づくり | | |
| 13 人材の確保と育成 | 基幹人材のキャリア形成の取り組みとして、新人事情報システムを 活用した「キャリアシート」を実施します。 | 新人事情報システムを活用した基幹人材 のキャリア形成の取り組み(「キャリア シート」の実施状況)(社員数・%) | | 30% | 100% | 100% | 0 | 新しい価値を創造する人材の確保と育成 | 4. 質の高い教育を 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがい。 経済成長 | |
| | 海外ナショナルスタッフの基幹人材を計画的に確保、育成、登用していきます。 | | | | | | | 新しい価値を創造する人材の確保と育成 | | |
| | 女性の積極的活用と女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきます。 | | | | | | | ダイバーシティ推進への取り組み | 10 人や国の不平等 16 平和と公正を すべての人に | |
| | 育児休職からの復職をサポートします。 | 育児休職からの復職 (率) | 100% | 100% | 100% | 100% | 0 | 社員が働きやすい企業風土づくり | | |
| | 法定外労働時間超過社員数を削減します。 | 法定外労働時間45時間/月超過社員数 削減 | 対前年比削減 | 対前年比削減 | 対前年比削減 | 79.7% | 0 | 社員が働きやすい企業風土づくり | | |
| | GHG排出量売上収益原単位を削減します。 | GHG排出量売上収益原単位削減(率) | 2013年 | =度比20%(2022 | 2年度) | 34.6% | 0 | 省エネおよび温室効果ガス排出削減 | 3 すべての人に 6 安全な水とトイレ 7 エネルギーを モレてクリー | |
| | VOC大気排出量を削減します。 | VOC大気排出量削減(率) | 2000年度比 70%以上 | 2000年度比 70%以上 | 2000年度比 70%以上 | 70.9% | 0 | 化学物質大気排出量の自主削減 | 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けまちづく | |
| 4 生物多様性の保全 | 高い廃棄物リサイクル率を目指します。 | 廃棄物リサイクル(率) | 86%以上 | 86%以上 | 86%以上 | 86.8% | 0 | <u>廃棄物削減への取り組み</u> | | |
| 14 生物多様性の保全 | 原材料に含まれるパーム油調査を実施し、認証品へ切り替えを進めます。 | 原材料に含まれるパーム油調査の実施(率) | 認証品使用調査 100% | 認証品への切替 | 「可否判定 100% 年度) | 100% | 0 | 生物多様性への取り組み | 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を | |
| | 計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。 | | | | | | | <u>省エネおよび温室効果ガス排出削減</u> | 15 陸の豊かさも 守ろう | |
| | PRTR法対象物質の大気排出量低減を推進します。 | | | | | | | 化学物質大気排出量の自主削減 | | |

| マテリアリティ | 「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み | 「CSRロードマップ 2022」で | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 2022年度活動状況 | | | |
|---------|-------------------------|-------------------|--------|--------|-------------------|-----|---------------------------|--|
| | | 設定したKPI | | 目標値 | | 実績値 | 評価 ^{*1} 関連する取り組み | |

- 注釈: *1:評価: 目標達成 △ 目標に対し50%以上達成 × 目標に対し50%未満の達成 一 当年度は評価しない
 - *2: CSRロードマップ 2022」の主な取り組みの内、KPIを設定していないもの。
 - *3:製品のバリューチェーンを通じたライフサイクル全体でCO₂排出量削減効果を、日本化学工業協会およびICCA(国際化学工業協会協議会)のガイドラインに従い、東レが独自に算出。
 - *4:水処理膜により新たに創出される年間水処理量。各種水処理膜(RO/UF/MBR)毎の1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出。
 - *5: personal protective equipment (個人用防護具)
 - *6:greenhouse gas(温室効果ガス)
 - *7:2022年度までは国内・海外関係会社のGHG排出量および売上収益に当社の出資比率を乗じて算定していましたが、2023年度からは、国際的な算定ルールであるGHGプロトコルに則った、経営支配力を乗じた算定方法に変更します。 同算定方法では32.7%削減です。
 - *8:基準年度である2013年度の値は、2014年度以降に東レグループに加わった会社分を含めて算出。
 - *9:volatile organic compounds(揮発性有機化合物)
 - *10:化学物質管理促進法
 - *11:quality assurance(品質保証)
 - *12:quality control(品質管理)
 - *13:トラック等で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へ転換すること。
 - *14:トラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とした運動。